

PRESS RELEASE

日本の伝統「藍染」とサステナブルなファブリックを組み合わせた 大阪・関西万博のユニフォーム

いよいよ開幕を迎える「大阪・関西万博」の関西パビリオンのアテンダントユニフォームとして、私たちは、伝統的な天然染料「阿波藍」による染めと、杉の間伐材から抽出した新しいファブリックブランド「KINOF」を融合させた、伝統的でサステナブルなユニフォームを提案します。

来る3月23日（日）、現地（大阪・関西万博・関西パビリオン）において、このユニフォームを発表します。

「阿波藍（藍染め）」

徳島で作られる天然染料で染め出される藍色は、「ジャパブルー」とも称され、2020年東京オリンピックのエンブレムでも採用された日本古来のブルー。

今回のユニフォームは、藍師・染師「BUAISOU」がデザイン、染めを手がけたオリジナルデザイン

Website <https://www.buaisou-i.com/>

「KINOF」

ゼロウエイトなどの取り組みで注目を集める徳島県上勝町生まれの新しいファブリックブランド。日本建築に使われる木材「杉」の間伐材から作った新しいテキスタイルを創作

Website <https://kinof.jp/>

1. ユニフォーム名称

踊渦潮乱舞鯛紋様型染法被

2. コンセプト

～徳島の歴史、自然、未来、全てに「感謝」を込めて～
地域でデザインされ、丁寧に作られたユニフォーム
阿波藍をおもてなしのスタンダードに



3. ビジュアルコンセプト

「藍が息衝く」

藍染の法被に描かれた鯛の躍動感から感じられる力強さを上勝の自然と合わせることで徳島の自然から感じる事のできる生命力を表し、徳島の精神性を表現する。

4. 制作者コメント

藍の魅力は、実際に目の前で体験しなければ伝わりにくいものです。

これは、阿波おどりや鳴門の渦潮にも共通しています。その中で、踊っているのか、外へ飛び出そうともがいているのか、様々な解釈が可能な大きな鯛が登場します。

鯛は、大きければ大きいほど「めでたい」という意味を持ちます。小さいうちは群れで行動しますが、成魚になると単独で生きていきます。

夏に阿波おどりが始まると、徳島県民は必ず帰ってくるという話は、徳島ならではの素晴らしい風景だと思います。

実際に観たり参加したりすることに意義がある場所として、万博だけでなく、徳島にも来ていただきたいという思いを込めています。



<お問い合わせ>

徳島県万博推進課

TEL 088-621-2364

e-mail bampakusuishinka@pref.tokushima.lg.jp